

(案)
四国中央市公共施設等総合管理計画
個別施設計画
(消防団施設編)



令和3年 月

四国中央市

所管課 警防課

目次

第1章 個別施設計画策定の趣旨.....	1
1 個別施設計画策定の背景.....	1
2 個別施設計画策定の目的.....	1
(1) 安心・安全な施設づくり.....	1
(2) 時代の要請に対応した施設づくり.....	2
3 個別施設計画の期間.....	2
第2章 施設の状況	3
1 役割	3
2 現状や課題	3
3 対象施設の情報	4
第3章 施設の財政状況及び利用状況.....	8
1 財政状況	8
第4章 施設の再編方針.....	12
1 再編の基本的な考え方.....	12
第5章 施設の状況	13
1 施設の現状	13
第6章 施設の改修時期と対策費用.....	18
1 施設更新・改修経費の試算.....	18
(1) 試算の方法と計画.....	18
(2) 試算額の比較.....	21
(3) 効果額	22
2 施設の改修等対策計画.....	22

第1章 個別施設計画策定の趣旨

1 個別施設計画策定の背景

四国中央市は、平成16年4月1日に2市1町1村が合併して誕生しましたが、公共施設等は、合併前の旧市町村が個別の視点でサービスの提供を目的として設置したものがほとんどです。そのため、市内に同類の施設が各地域にあり、逆に特定の地域にしか設置されていない施設があるなど、適正な配置がなされているとは言えないのが現状です。

また、少子高齢化の進展による人口減少問題をはじめ、それに伴う生産人口の減少による税収の減少や扶助費の高止まり等により地方財政が厳しい中、これまでに整備してきた公共施設等が一齐に改修・更新時期を迎えており、多額の費用が必要になると見込まれています。

このような背景から、公共施設等を取り巻く現状や課題等を客観的に把握・整理するとともに、長期的な視点を持って施設の長寿命化や複合化・集約化、機能転換等も含め、適正配置と有効活用による財政負担の軽減・平準化を図り、将来に負担を残さない行財政運営を実現していくことを目的とし、平成29年3月に四国中央市公共施設等総合管理計画（以下「管理計画」という。）を策定しました。

管理計画で示された基本的な方針に基づき、公共施設等マネジメントを推進していくための実行計画として、施設類型別ごとに個別施設計画（以下「個別計画」という。）を策定することとしており、本計画は、「消防団施設」を対象として策定するものです。

2 個別施設計画策定の目的

個別施設計画は、管理計画に基づき、個別の施設ごとの将来の具体的な方針を定める計画として、機能面における施設の現状や課題、将来の需要、建物の状態、再編方針、維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定めるものです。本計画により、行財政運営の効率化と安心安全な施設づくり、時代の要請に対応した施設づくりの推進を図ります。

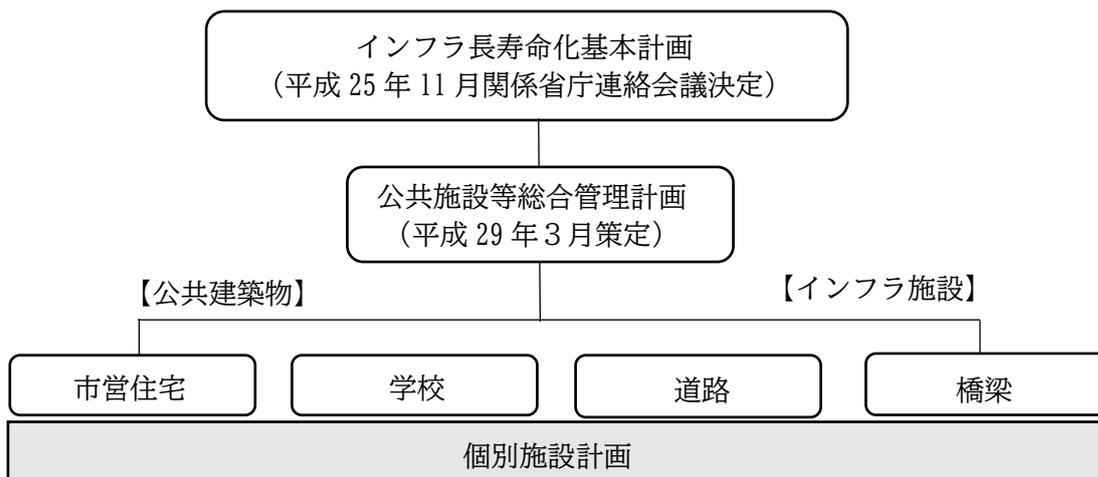
(1) 安心・安全な施設づくり

公共施設等を計画的に維持管理していくためには、大規模改修や修繕、定期点検等が必要です。さらに、多くの施設が建設後30年以上経過し、今後は更新費用の増大も見込まれています。公共施設等を適切に維持管理していくため、施設総量を市の財政状況に見合った数へと抑制しつつ、今後も存続させるべき施設の長寿命化を図りながら安心・安全な施設づくりを目指します。

(2) 時代の要請に対応した施設づくり

機能転換や複合化・集約化などにより施設の総量を抑制しつつ、存続すべき施設は更新の際に質をさらに充実させ、効率的・効果的なサービスの提供等により、時代の要請に対応した公共施設等へと再構築し、持続可能な市政の実現と継続的な行政サービスの提供を図ります。

【公共施設等マネジメント推進計画の体系図】



【管理計画と個別計画の関係】

●公共施設等総合管理計画 2017～2056(40年間)		個別施設計画
◆基本方針 ・施設等の現況、将来の見通し及び課題 ・マネジメントの5つの原則等 ※1期(10年)ごとに見直し	◆分野別施設方針 ③ ・個別施設計画の内容を反映 ・対象施設の再編の方向性を一元管理 ※1期10年(前期・後期)×4期 ※毎年、データを更新	○基本計画 ○実施計画 ②
◆ガイドライン【職員向け】 ・再編の実施方針を具体的に展開するためのマニュアル ※1期(10年)ごとに見直し	◆施設カルテ ① ・施設情報を共有し、施設評価に活用 ・施設評価の段階で、再編の方針決定を行い、その内容を個別施設計画に反映 ※毎年、各担当部署がデータを整備 ※政策推進課がマネジメント	※各担当部署が作成・実施

3 個別施設計画の期間

個別計画の期間は、公共施設等の寿命が数十年に及び中長期的な視点が不可欠であることや、管理計画の期間が40年間であることから、2020年度から2056年度まで（短期：策定～2026年度、中期：2027～41年度、長期：2042～56年度）の期間とします。なお、計画のローリングについては、10年間ごとに見直しを行うとともに、歳入減や扶助費等の増、制度変更等が生じた場合は、適宜見直しを行うこととします。

第2章 施設の状況

1 役割

消防団は、日頃から地域に密着し、いざ災害が発生した際には、火災現場での消火をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助・救出、警戒巡視、避難誘導、災害防御など様々な現場で活動しています。

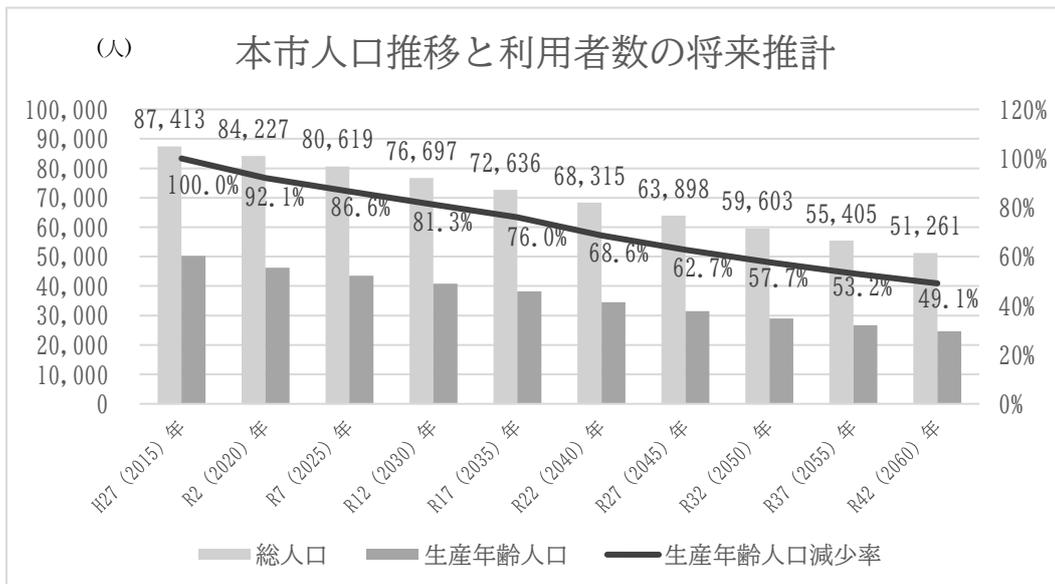
消防団詰所及び水防倉庫（以下「消防団施設」といいます。）は、消防団の活動拠点として、団員の待機、打合せ、消防車両等機械器具類の保管、維持管理などの役割を果たしています。また、消防団伊予三島方面隊本部庁舎・川之江方面隊本部庁舎・土居方面隊本部庁舎は、各地域における消防団活動の統括を行うとともに、平成30年度に市災害対策支部の機能を移転させ、各地域の防災拠点として機能を有しています。

2 現状や課題

消防団施設は、表に示すとおり、消防団詰所が78か所、水防倉庫が12か所あり、消防団詰所にあつては65%が、水防倉庫にあつては25%が、築30年以上を経過し、老朽化が進んでいます。

また、消防団は、住民に対する防災の指導的役割を担い、また、大規模災害時に迅速な対応が求められるなど、地域防災の中核的な存在であります。近年、消防団員の減少や高齢化などにより活動維持が厳しい地域が見られます。

消防団施設は、各地域の消防団の災害活動拠点として将来的にも必要な施設であります。今後、人口の推移などを勘案し、消防団活動の維持に向けた組織の見直しとともに、施設の集約等の検討が必要となっています。



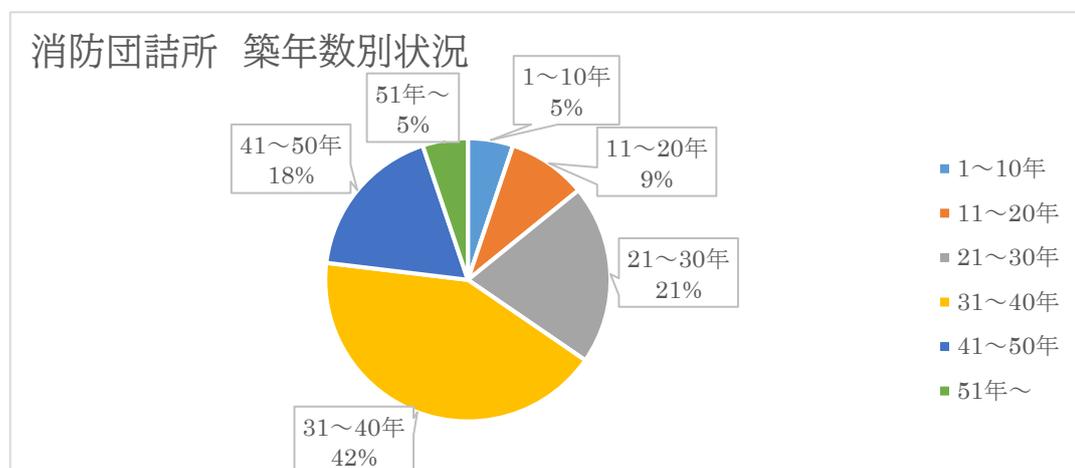
3 対象施設の情報

(1) 消防団詰所

No.	名称	地域	建築年	経過 年数	耐用年数 満了年	構造	延床面積 (㎡)
1	伊予三島方面隊本部	三島	1998	22	2048	RC造2階	702.93
2	三島第一分団第1部蔵置所	三島	1983	37	2033	RC造2階	122.78
3	三島第一分団第2部蔵置所	三島	2005	15	2055	RC造2階	145.10
4	三島第一分団第3部蔵置所	三島	1962	58	2012	RC造2階	不明
5	三島第一分団第4部蔵置所	三島	1959	61	2009	RC造2階	68.0
6	三島第二分団第5部蔵置所	三島	1985	35	2035	RC造2階	126.20
7	三島第二分団第6部蔵置所	三島	1992	28	2042	RC造2階	87.06
8	三島第二分団第7部蔵置所	三島	1985	35	2035	RC造2階	110.54
9	三島第二分団第8部蔵置所	三島	1982	38	2032	RC造2階	129.75
10	松柏分団第1部蔵置所	三島	1989	31	2039	RC造2階	99.23
11	松柏分団第2部蔵置所	三島	1985	35	2035	RC造1階	85.68
12	松柏分団第3部蔵置所	三島	1988	32	2038	RC造2階	94.32
13	松柏分団第4部蔵置所	三島	1986	34	2036	RC造2階	87.99
14	松柏分団第5部蔵置所	三島	1978	42	2028	RC造1階	66.00
15	寒川分団第1部蔵置所	三島	1989	31	2039	RC造2階	99.76
16	寒川分団第2部蔵置所	三島	1965	55	2015	RC造2階	113.07
17	寒川分団第3部蔵置所	三島	1983	37	2033	RC造2屋	92.49
18	寒川分団第4部蔵置所	三島	1986	34	2036	RC造2階	86.52
19	豊岡分団第1部蔵置所	三島	1979	41	2029	RC造2階	101.36
20	豊岡分団第2部蔵置所	三島	1991	29	2041	RC造1階	69.31
21	富郷分団第1部1班・3班蔵置所	三島	1994	26	2044	RC造2階	100.68
22	富郷分団第2部2班蔵置所	三島	1988	32	2038	RC造1階	62.58
23	富郷分団第2部4班蔵置所	三島	1985	35	2035	RC造1階	59.92
24	金砂分団蔵置所	三島	1989	31	2039	RC造1階	64.56
25	川之江方面隊本部	川之江	1989	31	2039	RC造2階	287.96
26	川之江方面隊本部車庫	川之江	2018	2	2056	S造1階	52.50
27	川之江分団第1部消防車庫	川之江	1988	32	2038	RC造2階	66.95

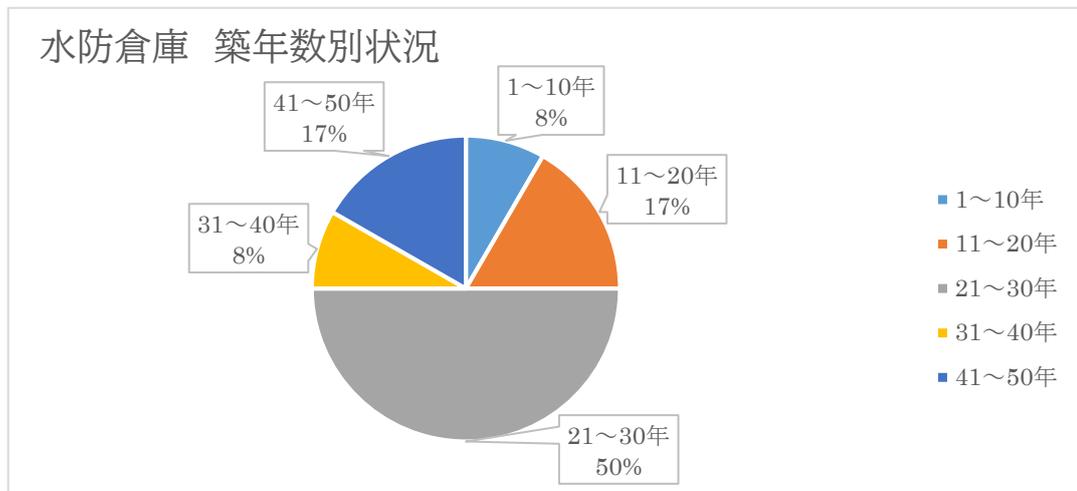
No.	名称	地域	建築年	経過年数	耐用年数満了年	構造	延床面積(m ²)
28	川之江分団第2部消防車庫	川之江	1988	32	2038	RC造2階	65.87
29	川之江分団第3部消防車庫	川之江	1982	38	2032	RC造1階	42.06
30	川之江分団第4部消防車庫	川之江	1987	33	2037	RC造1階	56.10
31	川之江分団第5部消防車庫	川之江	1992	28	2042	RC造2階	71.78
32	金生分団第1部消防車庫	川之江	1986	34	2036	RC造2階	55.57
33	金生分団第2部消防車庫	川之江	1986	34	2036	RC造2階	48.13
34	金生分団第3部消防車庫	川之江	1982	38	2032	RC造1階	41.71
35	金生分団第4部消防車庫	川之江	1981	39	2031	RC造2階	42.93
36	上分分団第1・2部消防車庫	川之江	1996	24	2046	RC造1階	95.90
37	金田分団第1部消防車庫	川之江	1992	28	2042	RC造1階	55.00
38	金田分団第2部消防車庫	川之江	1977	43	2027	RC造1階	48.85
39	金田分団第3部消防車庫	川之江	1977	43	2027	RC造2階	44.49
40	金田分団第4部消防車庫	川之江	1979	41	2029	RC造2階	46.03
41	川滝分団第1部消防車庫	川之江	1998	22	2048	RC造2階	57.78
42	川滝分団第2部消防車庫	川之江	1997	23	2047	RC造2階	57.80
43	川滝分団第3部消防車庫	川之江	2003	17	2053	RC造2階	57.80
44	川滝分団第4部消防車庫	川之江	1993	27	2043	RC造2階	55.60
45	川滝分団第5部消防車庫	川之江	1995	25	2045	RC造2階	58.00
46	妻鳥分団第1部消防車庫	川之江	1977	43	2027	RC造1階	44.87
47	妻鳥分団第2部消防車庫	川之江	1995	25	2045	RC造2階	55.60
48	妻鳥分団第3部消防車庫	川之江	1980	40	2030	RC造1階	38.35
49	土居方面隊本部	土居	1984	36	2034	RC造2階	191.61
50	関川分団第1部詰所	土居	1983	37	2033	RC造2階	55.87
51	関川分団第2部詰所	土居	1976	44	2014	S造2階	50.10
52	関川分団第3部詰所	土居	1979	41	2029	CB造2階	56.00
53	関川分団第4部詰所	土居	2003	17	2041	S造2階	121.02
54	土居分団第1部詰所	土居	1978	42	2016	S造2階	56.00
55	土居分団第2部詰所	土居	1984	36	2034	RC造2階	58.65
56	土居分団第3部詰所	土居	1969	51	2019	CB造1階	48.00
57	土居分団第4部詰所	土居	2003	17	2033	W造2階	81.22

No.	名称	地域	建築年	経過年数	耐用年数満了年	構造	延床面積 (㎡)
58	土居分団第5部詰所	土居	1980	40	2030	RC造1階	57.00
59	小富士分団第1部詰所	土居	2011	9	2049	S造1階	81.27
60	小富士分団第2・4部詰所	土居	2019	1	2057	S造1階	127.28
61	小富士分団第3部1班詰所	土居	1982	38	2032	CB造1階	57.87
62	小富士分団第3部2班詰所	土居	1981	39	2031	RC造1階	57.87
63	長津分団第1部詰所	土居	1982	38	2020	S造2階	57.87
64	長津分団第2部詰所	土居	1978	42	2028	CB造2階	48.00
65	長津分団第3部詰所	土居	1977	43	2027	CB造2階	56.00
66	長津分団第4部詰所	土居	1985	35	2035	RC造2階	60.68
67	長津分団第5部詰所	土居	1981	39	2019	S造2階	57.87
68	天満分団第1部詰所	土居	1979	41	2017	S造2階	57.00
69	天満分団第2部詰所	土居	2003	17	2033	W造1階	74.45
70	天満分団第3部詰所	土居	2006	14	2044	S造1階	74.73
71	蕪崎分団第1部詰所	土居	1974	46	2024	CB造2階	44.00
72	蕪崎分団第2部詰所	土居	1980	40	2018	S造2階	61.00
73	新宮第一分団詰所	新宮	1997	23	2035	S造2階	72.28
74	新宮第二分団詰所	新宮	2012	8	2050	S造1階	110.70
75	新宮第三分団詰所	新宮	1975	45	2025	CB造1階	26.15
76	新宮第四分団詰所	新宮	2004	16	2042	S造2階	64.24
77	新宮第五分団詰所	新宮	1995	25	2033	S造2階	64.24
78	新宮第六分団詰所	新宮	1994	26	2032	S造2階	64.24



(2) 水防倉庫

No.	名称	地域	建築年	経過年数	耐用年数満了年	構造	延床面積 (㎡)
1	松柏水防倉庫	三島	1994	26	2044	RC造1階	28.00
2	寒川水防倉庫	三島	1991	29	2041	RC造1階	30.00
3	豊岡水防倉庫	三島	1992	28	2041	RC造1階	24.50
4	嶺南水防倉庫	三島	1979	41	2017	S造1階	59.00
5	戸女地滑り避難所	三島	1977	43	2015	S造1階	69.00
6	原中水防倉庫	川之江	2003	17	2053	CB造1階	32.67
7	塩谷水防倉庫	川之江	1994	26	2044	CB造1階	31.38
8	井地水防倉庫	川之江	1988	32	2038	RC造2階	53.96
9	北野水防倉庫	土居	1997	23	2035	S造1階	35.26
10	野田水防倉庫	土居	2001	19	2039	S造1階	30.36
11	天満水防倉庫	土居	1998	22	2036	S造1階	30.36
12	小富士水防倉庫	土居	2019	1	2057	S造1階	21.17



第3章 施設の財政状況及び利用状況

1 財政状況

(1) 消防団詰所

No.	名称	支出 (円)	団員数 (人)	1人当たりの コスト(円)
1	伊予三島方面隊本部	761,127	12	63,427
2	三島第一分団第1部蔵置所	60,530	15	4,035
3	三島第一分団第2部蔵置所	121,251	16	7,578
4	三島第一分団第3部蔵置所	—	20	—
5	三島第一分団第4部蔵置所	55,797	14	3,986
6	三島第二分団第5部蔵置所	86,110	17	5,065
7	三島第二分団第6部蔵置所	—	13	—
8	三島第二分団第7部蔵置所	137,069	25	5,483
9	三島第二分団第8部蔵置所	82,831	27	3,068
10	松柏分団第1部蔵置所	49,574	25	1,983
11	松柏分団第2部蔵置所	105,067	25	4,203
12	松柏分団第3部蔵置所	69,118	20	3,456
13	松柏分団第4部蔵置所	103,971	19	5,472
14	松柏分団第5部蔵置所	110,807	15	7,387
15	寒川分団第1部蔵置所	82,015	20	4,101
16	寒川分団第2部蔵置所	26,304	18	1,461
17	寒川分団第3部蔵置所	78,111	20	3,906
18	寒川分団第4部蔵置所	55,890	19	2,942
19	豊岡分団第1部蔵置所	77,321	25	3,093
20	豊岡分団第2部蔵置所	15,099	22	686
21	富郷分団第1部1班・3班蔵置所	62,644	5	12,529
22	富郷分団第2部2班蔵置所	10,357	3	3,452
23	富郷分団第2部4班蔵置所	47,820	4	11,955
24	金砂分団蔵置所	79,730	13	6,133
25	川之江方面隊本部	264,346	7	37,764
26	川之江方面隊本部車庫	—	—	—
27	川之江分団第1部消防車庫	18,276	15	1,218

No.	名称	支出 (円)	団員数 (人)	1人当たりの コスト(円)
28	川之江分団第2部消防車庫	60,518	15	4,035
29	川之江分団第3部消防車庫	37,961	15	2,531
30	川之江分団第4部消防車庫	23,940	12	1,995
31	川之江分団第5部消防車庫	57,816	15	3,854
32	金生分団第1部消防車庫	18,524	15	1,235
33	金生分団第2部消防車庫	35,488	15	2,366
34	金生分団第3部消防車庫	38,360	12	3,197
35	金生分団第4部消防車庫	47,173	15	3,149
36	上分分団第1・2部消防車庫	58,982	27	2,185
37	金田分団第1部消防車庫	61,033	14	4,360
38	金田分団第2部消防車庫	69,546	15	4,636
39	金田分団第3部消防車庫	41,100	12	3,425
40	金田分団第4部消防車庫	41,529	12	3,461
41	川滝分団第1部消防車庫	45,338	12	3,778
42	川滝分団第2部消防車庫	38,044	12	3,170
43	川滝分団第3部消防車庫	36,215	12	3,018
44	川滝分団第4部消防車庫	36,151	12	3,013
45	川滝分団第5部消防車庫	47,426	12	3,952
46	妻鳥分団第1部消防車庫	42,383	15	2,826
47	妻鳥分団第2部消防車庫	79,956	15	5,330
48	妻鳥分団第3部消防車庫	47,546	12	3,962
49	土居方面隊本部	—	10	—
50	関川分団第1部詰所	35,874	16	2,242
51	関川分団第2部詰所	48,387	14	3,456
52	関川分団第3部詰所	46,269	14	3,305
53	関川分団第4部詰所	103,436	22	4,702
54	土居分団第1部詰所	48,080	15	3,205
55	土居分団第2部詰所	48,755	14	3,483
56	土居分団第3部詰所	62,422	16	3,901
57	土居分団第4部詰所	58,034	15	3,869

No.	名称	支出 (円)	団員数 (人)	1人当たりの コスト(円)
58	土居分団第5部詰所	37,792	10	3,779
59	小富士分団第1部詰所	81,345	15	5,423
60	小富士分団第2・4部詰所	—	30	—
61	小富士分団第3部1班詰所	44,436	15	2,962
62	小富士分団第3部2班詰所	32,151	10	3,215
63	長津分団第1部詰所	85,323	15	5,688
64	長津分団第2部詰所	58,372	14	4,169
65	長津分団第3部詰所	79,864	14	5,705
66	長津分団第4部詰所	46,221	8	5,778
67	長津分団第5部詰所	27,835	11	2,530
68	天満分団第1部詰所	41,729	14	2,981
69	天満分団第2部詰所	75,118	14	5,366
70	天満分団第3部詰所	83,475	17	4,910
71	蕪崎分団第1部詰所	37,403	13	2,877
72	蕪崎分団第2部詰所	40,054	15	2,670
73	新宮第一分団詰所	31,930	19	1,681
74	新宮第二分団詰所	41,956	23	1,824
75	新宮第三分団詰所	4,247	3	1,416
76	新宮第四分団詰所	33,433	16	2,090
77	新宮第五分団詰所	41,631	16	2,602
78	新宮第六分団詰所	12,706	13	977

※支出は、平成30年度の維持管理費（光熱水費）により、団員数は、平成30年4月1日現在の実員数により算定しています。

(2) 水防倉庫

No.	名称	支出 (円)	延床面積 (㎡)	1㎡当たりの コスト(円)
1	松柏水防倉庫	4,845	28.00	173
2	寒川水防倉庫	8,106	30.00	270
3	豊岡水防倉庫	4,845	24.50	198
4	嶺南水防倉庫	—	59.00	—
5	戸女地滑り避難所	—	69.00	—
6	原中水防倉庫	—	32.67	—
7	塩谷水防倉庫	4,845	31.38	154
8	井地水防倉庫	4,845	53.96	90
9	北野水防倉庫	4,845	35.26	137
10	野田水防倉庫	4,845	30.36	160
11	天満水防倉庫	4,845	30.36	160
12	小富士水防倉庫	—	21.17	—

※支出は、平成30年度の維持管理費（光熱水費）により算定しています。

第4章 施設の再編方針

1 再編の基本的な考え方

防災・減災対策については、市を挙げて取り組む施策で、将来の発展に資するものであり、本市においても重点施策の一つとして位置づけております。

地域防災力の充実・強化を図るうえで、消防団はその中核的な役割を担うことから、その活動拠点である消防団施設については、その機能を引き続き維持することを基本的に考えます。

一方、少子高齢化による人口減少、若い世代等の市外への流出、就業構造の変化など社会環境変化の影響を受け、消防団員数は減少傾向にあり活動維持に苦慮する地域も見られます。今後は、消防団員の確保に努める一方で、存続が難しい部については、分団規模の縮小や統廃合も検討していく必要があります。

消防団施設の再編は、消防団組織の改編と併せた検討が必要なことから、今後、地域消防団の実状や建物の耐用年数を考慮のうえ、消防団組織の見直しも含め地域住民と調整を図りながら、耐用年数満了期を迎える時期に順次車両及び人員等の機能を集約、または、単独で施設を新築することとし、現在の施設の3分の2に集約します。なお、集約等により施設を新築する場合は、従前施設の合計延べ床面積を越えないことを原則とし、新築後の空き施設は除却することとします。

また、消防団施設のうち、消防団伊予三島方面隊本部庁舎・川之江方面隊本部庁舎・土居方面隊本部庁舎は、各地域における消防団活動の統括と、市の災害対策支部の機能を有していることから、今後も、各地域の防災拠点として機能を継続させ、それぞれの施設は長寿命化改修を施し維持します。

2 再編の検討結果

No.	名称	建物再編の方針			備考
		短期	中期	長期	
1	伊予三島方面隊本部	維持	維持	維持	長寿命化
2	川之江方面隊本部	維持	維持	維持	長寿命化
3	川之江方面隊本部車庫	維持	維持	維持	長寿命化
4	土居方面隊本部	維持	維持	維持	長寿命化

短期：計画策定～2026(R8)年度、中期：2027(R9)～2041(R23)年度、

長期：2042(R24)～2056(R38)年度

第5章 施設の状態

1 施設の現状

施設を適切に維持していくうえで、現在の施設の各部位を点検し状態を把握します。

点検部位は、安全性の向上や、建築物の性能や機能を維持するうえで重要となる部分として示した「[表ア] 消防団施設保全対象部位」の4項目とし、各部位ごとの評価は[表イ]の表記のとおりとします。

なお、不具合の改修につきましては、建物の使用頻度や利用状況により老朽化が大きく異なるものの、発見された劣化及び破損状況に基づき随時対処していきます。

[表ア] 消防団施設保全対象部位

工種	番号	対象部位	具体的内容
建築	①	屋根	屋上防水、屋根葺材等
	②	外部仕上げ	外壁（シーリング含む）
	③	外部建具	金属製建具、シャッター
	④	内装仕上げ	室内（床・壁・天井仕上げ）塗装等

[表イ] 各部位ごとの評価

表記	状態
×	劣化が進行し、改修工事が必要と思われるもの
△	中軽度の劣化が見られ、修繕等が必要と思われるもの
空欄	問題なく維持できていると思われるもの

点検部位ごとの調査結果は、次表のとおりです。

(1) 消防団詰所

No.	名称	地域	経過 年数	①	②	③	④
1	伊予三島方面隊本部	三島	22		△		
2	三島第一分団第1部蔵置所	三島	37				
3	三島第一分団第2部蔵置所	三島	15		△	△	
4	三島第一分団第3部蔵置所	三島	58		△	△	△
5	三島第一分団第4部蔵置所	三島	61		△	△	△
6	三島第二分団第5部蔵置所	三島	35				
7	三島第二分団第6部蔵置所	三島	28				
8	三島第二分団第7部蔵置所	三島	35		△		
9	三島第二分団第8部蔵置所	三島	38		△	△	
10	松柏分団第1部蔵置所	三島	31		△		
11	松柏分団第2部蔵置所	三島	35				
12	松柏分団第3部蔵置所	三島	32		△		
13	松柏分団第4部蔵置所	三島	34				△
14	松柏分団第5部蔵置所	三島	42		△	△	
15	寒川分団第1部蔵置所	三島	31				
16	寒川分団第2部蔵置所	三島	55			△	△
17	寒川分団第3部蔵置所	三島	37				
18	寒川分団第4部蔵置所	三島	34		△		
19	豊岡分団第1部蔵置所	三島	41	△	△		△
20	豊岡分団第2部蔵置所	三島	29				
21	富郷分団第1部1班・3班蔵置所	三島	26				△
22	富郷分団第2部2班蔵置所	三島	32			△	△
23	富郷分団第2部4班蔵置所	三島	35			△	
24	金砂分団蔵置所	三島	31	△	△	△	△
25	川之江方面隊本部	川之江	31				
26	川之江方面隊本部車庫	川之江	2				
27	川之江分団第1部消防車庫	川之江	32	△	△		△

No.	名称	地域	経過年数	①	②	③	④
28	川之江分団第2部消防車庫	川之江	32				
29	川之江分団第3部消防車庫	川之江	38	△	△	△	△
30	川之江分団第4部消防車庫	川之江	33		△	△	
31	川之江分団第5部消防車庫	川之江	28		△		
32	金生分団第1部消防車庫	川之江	34	△			
33	金生分団第2部消防車庫	川之江	34		△		
34	金生分団第3部消防車庫	川之江	38		△		
35	金生分団第4部消防車庫	川之江	39			△	
36	上分分団第1・2部消防車庫	川之江	24				
37	金田分団第1部消防車庫	川之江	28		△		
38	金田分団第2部消防車庫	川之江	43	△	△		△
39	金田分団第3部消防車庫	川之江	43		△		
40	金田分団第4部消防車庫	川之江	41		△		
41	川滝分団第1部消防車庫	川之江	22				
42	川滝分団第2部消防車庫	川之江	23				
43	川滝分団第3部消防車庫	川之江	17				
44	川滝分団第4部消防車庫	川之江	27			△	
45	川滝分団第5部消防車庫	川之江	25		△		
46	妻鳥分団第1部消防車庫	川之江	43	△	△		△
47	妻鳥分団第2部消防車庫	川之江	25				
48	妻鳥分団第3部消防車庫	川之江	40		△		
49	土居方面隊本部	土居	36				△
50	関川分団第1部詰所	土居	37		△	△	
51	関川分団第2部詰所	土居	44	△	△		△
52	関川分団第3部詰所	土居	41				△
53	関川分団第4部詰所	土居	17				
54	土居分団第1部詰所	土居	42				
55	土居分団第2部詰所	土居	36				
56	土居分団第3部詰所	土居	51	△	△	△	△

No.	名称	地域	経過年数	①	②	③	④
57	土居分団第4部詰所	土居	17				
58	土居分団第5部詰所	土居	40	△	△		△
59	小富士分団第1部詰所	土居	9				
60	小富士分団第2・4部詰所	土居	1				
61	小富士分団第3部1班詰所	土居	38		△		△
62	小富士分団第3部2班詰所	土居	39		△		△
63	長津分団第1部詰所	土居	38		△		△
64	長津分団第2部詰所	土居	42	△	△		△
65	長津分団第3部詰所	土居	43		△		△
66	長津分団第4部詰所	土居	35		△		
67	長津分団第5部詰所	土居	39		△	△	△
68	天満分団第1部詰所	土居	41		△		
69	天満分団第2部詰所	土居	17				
70	天満分団第3部詰所	土居	14				
71	蕪崎分団第1部詰所	土居	46	△	△		△
72	蕪崎分団第2部詰所	土居	40		△		△
73	新宮第一分団詰所	新宮	23	△			
74	新宮第二分団詰所	新宮	8				
75	新宮第三分団詰所	新宮	45	△	△		
76	新宮第四分団詰所	新宮	16				
77	新宮第五分団詰所	新宮	25				
78	新宮第六分団詰所	新宮	26				

(2) 水防倉庫

No.	名称	地域	経過年数	①	②	③	④
1	松柏水防倉庫	三島	26				
2	寒川水防倉庫	三島	29		△		
3	豊岡水防倉庫	三島	28		△	△	
4	嶺南水防倉庫	三島	41	△	△	△	△
5	戸女地滑り避難所	三島	43	×	×	×	×
6	原中水防倉庫	川之江	17		△		
7	塩谷水防倉庫	川之江	26		△		
8	井地水防倉庫	川之江	32				
9	北野水防倉庫	土居	23		△		
10	野田水防倉庫	土居	19				
11	天満水防倉庫	土居	22				
12	小富士水防倉庫	土居	1				

第6章 施設の改修時期と対策費用

1 施設更新・改修経費の試算

本計画期間の2056年度までに必要な施設の改修や更新等にかかる対策費用を試算します。費用の試算に当たっては、下記で示した改修等単価を使用します。

「単純更新（従来）型」と「長寿命化・再編型」で試算します。

[改修等単価]

中規模改修	行政系施設 大規模改修(長寿命化改修)の5割	改修単価 12.5 万円/㎡ (鉄筋コンクリート造) 改修単価 6.25 万円/㎡ (鉄骨造)
大規模改修 (長寿命化改修)	行政系施設 バリアフリー対応等社会的改修含む	改修単価 25 万円/㎡ (鉄筋コンクリート造)
建替え	行政系施設 解体費含む	更新単価 40 万円/㎡ (鉄筋コンクリート造) 更新単価 20 万円/㎡ (鉄骨造、木造、CB造)
解体	行政系施設 廃材処理費含む	解体単価 1.7 万円/㎡ (鉄骨造)

(1) 試算の方法と計画

ア 単純更新（従来）型

統廃合などの再編は行わず、既存の建物と同規模の建物を維持することとし、従来建替えの時期と来てきた、減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和40年3月31日大蔵省令第15号)に基づく耐用年数満了期に、同規模の建物に建替える計画とします。

(時期：年度、単位：千円)

改修等区分		伊予三島方面隊 本部庁舎	川之江方面隊 本部庁舎・車庫	土居方面隊 本部庁舎	消防団詰所 三島地域
		1998年築	1989・2018年築	1984年築	—
建替え	時期	2048	2039・2056	2034	—
	費用	281,172	125,684	76,644	829,160
	費用計				
維持管理 ・修繕費	時期	2020～2056※			
	費用計				
合計額					

(時期：年度、単位：千円)

改修等区分		消防団詰所 川之江地域	消防団詰所 土居地域	消防団詰所 新宮地域	水防倉庫
		—	—	—	—
建替え	時期	—	—	—	—
	費用	482,868	332,508	80,370	112,190
	費用計	2,320,596			
維持管理 ・修繕費	時期	2020～2056※			
	費用計	212,232			
合計額		2,532,828			

※維持管理費（光熱水費実績）及び修繕料（見積額）については、2020年～2056年までの合計額を計上しています。

イ 長寿命化・再編型

「第4章 施設の再編方針」で示した再編を行うとともに、改修及び保全を行います。

なお、長寿命化改修を施す消防団伊予三島方面隊本部庁舎・川之江方面隊本部庁舎及び車庫・土居方面隊本部庁舎は、全施設とも目標耐用年数を80年とし、中規模改修を竣工後20年及び60年に、大規模改修を竣工後40年で実施することとします。

(時期：年度、単位：千円)

工事等区分		伊予三島方面隊 本部庁舎 1998年築	川之江方面隊 本部庁舎・車庫 1989・2018年築	土居方面隊 本部庁舎 1984年築	消防団詰所 三島地域
		—	—	—	—
中規模改修	時期	—	2049・2038	2044	—
	費用	—	39,276	23,951	—
	費用計				
大規模改修	時期	2038	2029	2024	—
	費用	175,733	71,990	47,903	—
	費用計				
新築（建替え） （解体費含む）	時期	—	—	—	2020～2056
	費用	—	—	—	552,773
解体工事	時期	—	—	—	—
	費用	—	—	—	—
建替え等費用計					
合計					

(時期：年度、単位：千円)

工事等区分		消防団詰所 川之江地域	消防団詰所 土居地域	消防団詰所 新宮地域	水防倉庫
		—	—	—	—
中規模改修	時期	—	—	—	—
	費用	—	—	—	—
	費用計	63,227			
大規模改修	時期	—	—	—	—
	費用	—	—	—	—
	費用計	295,626			
新築（建替え） （解体費含む）	時期	2020～2056	2020～2056	2020～2056	2020～2056
	費用	321,912	221,672	53,580	65,594
解体工事	時期	—	—	—	2020～2026
	費用	—	—	—	1,173
建替え等費用計		1,216,704			
合 計		1,575,557			

(その他経費)

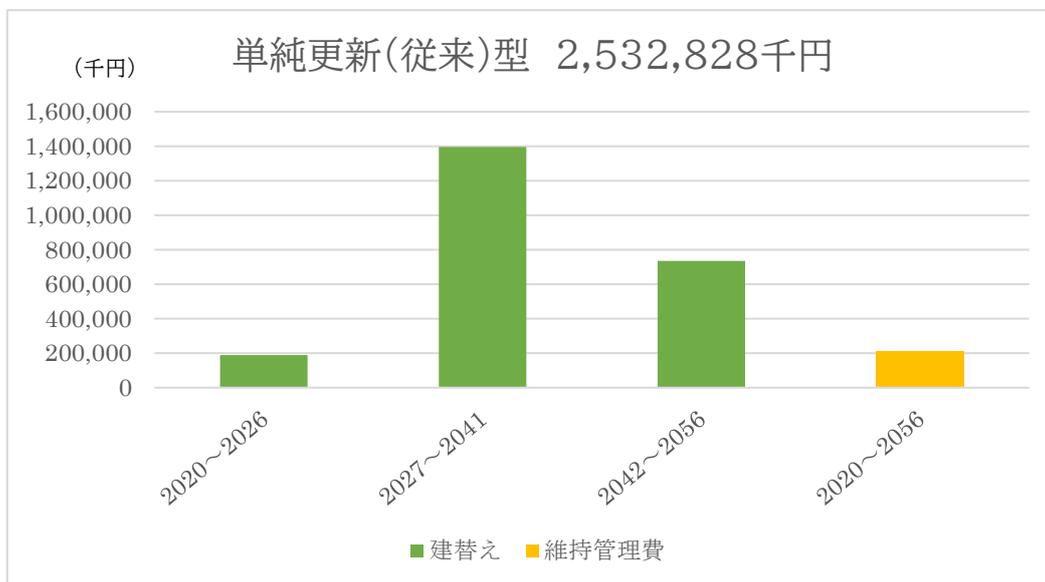
維持管理・修繕費※	2020 ～ 2056	151,108
-----------	-------------------	---------

※「ア 単純更新（従来）型」と同様に、維持管理費（光熱水費実績）及び修繕料（見積額）については、2020年～2056年までの合計額を計上しています。

(2) 試算額の比較

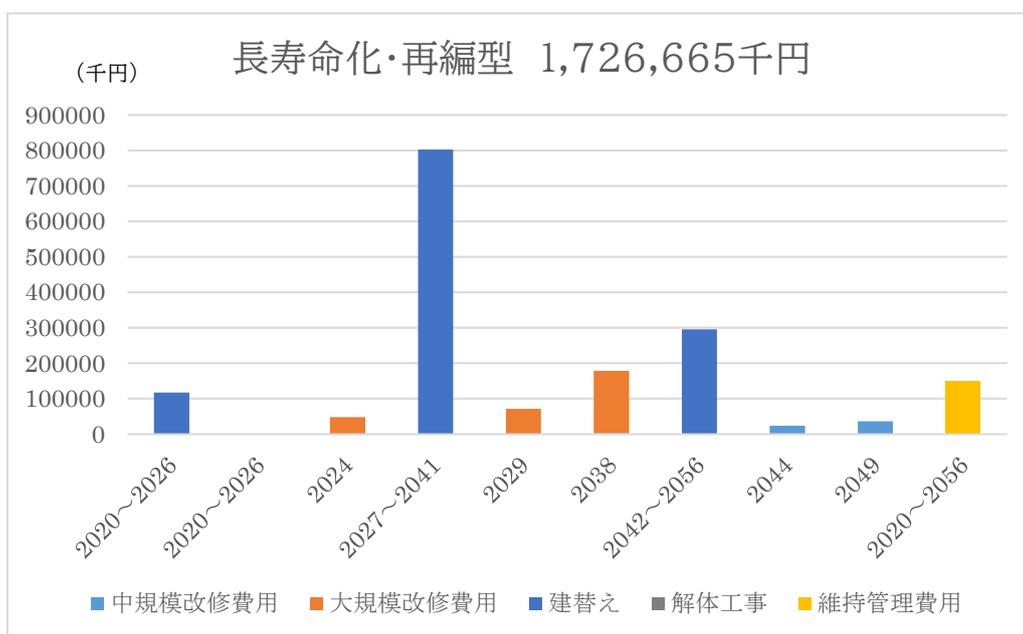
前述の「(1) 試算の方法と計画」による試算額の比較は、次のとおりです。

ア 単純更新(従来)型



建替え費用 2,320,596 千円
維持管理費用 212,232 千円

イ 長寿命化・再編型



中規模改修費用 63,227 千円
大規模改修費用 295,626 千円
建替え費用 1,215,531 千円
解体工事費用 1,173 千円
維持管理費用 151,108 千円

(3) 効果額

「長寿命化・再編型」による場合は、約 8 億 616 万円の経費節減が見込まれます。

類型	試算額
単純更新（従来）型	2,532,828 千円
長寿命化・再編型	1,726,665 千円
効果額（差額）	806,163 千円

2 施設の改修等対策計画

前述の「長寿命化・再編型」による改修等の対策計画を整理します。

改修等対策計画と費用見込み（時系列一覧）

計画期間	予定年度	対策の名称等	費用見込み (千円)
短期	2020～2026	集約等による建て替え工事	117,217
	2020～2026	戸女地滑り避難所解体工事	1,173
	2024	土居方面隊本部庁舎 大規模改修工事	47,903
中期	2027～2041	集約等による建て替え工事	802,872
	2029	川之江方面隊本部庁舎 大規模改修工事	71,990
	2038	伊予三島方面隊本部庁舎 大規模改修工事	175,733
川之江方面隊車庫 中規模改修工事		3,281	
長期	2042～2056	集約等による建て替え工事	295,442
	2044	土居方面隊本部庁舎 中規模改修工事	23,951
	2049	川之江方面隊本部庁舎 中規模改修工事	35,995

短期：計画策定～2026(R8)年度、中期：2027(R9)～2041(R23)年度、

長期：2042(R24)～2056(R38)年度

2020/10/22 作成
警防課